

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和元年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成27年4月1日から 令和2年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	359	181	50.4%	
	延べ利用者数 (人)	423,350	222,746	52.6%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	359	181	50.4%
		自主事業 (回)	-	-	-%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	-	-	-%
		利用料金収入(売上) (円)	340,800,000	179,418,909	52.6%
		自主事業収入 (円)	-	-	-%
		その他の収入 (円)	13,210,000	6,087,749	46.1%
	収入計 (円)		354,010,000	185,506,658	52.4%
	支出	人件費 (円)	146,600,000	71,933,553	49.1%
		維持管理経費 (円)	101,800,000	51,279,378	50.4%
		自主事業関係経費 (円)	-	-	-%
		その他の支出 (円)	103,610,000	55,990,003	54.0%
	支出計 (円)		352,010,000	179,202,934	50.9%
	収支 (収入-支出) (円)		2,000,000	6,303,724	315.2%
	諸経費 (本社運営費など)		-	-	-%
総収支 (円)		2,000,000	6,303,724	315.2%	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：181日 休館日2日 利用者：222,746人 (前年同期比：1,792人増)	【事業の実施状況について】 全体の来館者数については、6、7月の梅雨期間が長引いた結果、前期に比べ減少した。 なお、それ以外の月は、温泉総選挙うる肌部門2年連続3位、GWの10連休、昨年の土砂崩れで通行止めになっていた長岳橋からの遊歩道開通(8月)により、キャンプ客の集客が可能となったことなどから増加となった。	【収支状況について】 温泉部門の売上高は前期に比べ増収となったが、レストラン・直売部門においては減収となった。 この要因として、市民の温泉利用はあったが、その利用者がレストラン・直売所をあまり利用しなかったことや、長岳橋からの遊歩道の通行止めや天候不順などの影響もあったと考えられる。 なお、7月から、土日祝及びお盆期間の15時から17時までカフェの営業を再開し、収益向上に努めた。
--	---	---

所管課の評価（指摘事項）		
【開館日数・利用者数について】 年間計画に沿った開館を行っている。利用者数は、大型連休及び迂回路の整備等があったが、前年同期を上回っており、良好である。	【事業の実施状況について】 梅雨期間に利用者は減少となったが、7月からカフェが再開され、計画どおりの事業が実施されるようになったことが評価できる。	【収支状況について】 収入は前年同期を上回っている。人員配置及び維持管理費の見直しを図ることで支出を抑え、収支状況は良好である。

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	80人 人員配置計画、実地、出勤簿	77人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	3回/年 研修マニュアル	実施回数3回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	30% 人員配置計画	46.2% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善

自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>温泉部門においては、温泉総選挙うる肌部門2年連続第3位、GWが10連休であったことなどで利用者が増え、前期に比べ増収となった。しかし、レストラン・直売部門においては、長岳橋からの遊歩道が通行止めになっていたこと（8月より開通）や天候不順、野生動物による作物の被害などの影響により減収となった。</p> <p>施設維持管理経費等においては、社員の増員及び既設機器の修繕等が増加したことなどから、売上高184,983千円、経常利益6,304千円で推移した。</p> <p>今後は、更なる顧客満足度の向上に努め、収支のバランスを考慮するとともに、人員確保や経費抑制を推進していく。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>上半期については、5月の大型連休や7月からのカフェの営業再開、迂回路の整備などにより、利用者増加となった。直売所における販売促進を図るための商品開発や各種イベントに参加するなど、積極的な事業展開を行っていることは、評価できる。しかしながら、レストラン・直売所部門では、市民利用の増加による購買力の低下や天候不順による農産物の品薄などから、減収となっている状況である。今後、季節や天候、鳥獣被害などに左右されない運営方法及び市民利用者への対策の調査・研究を行い、下半期の運営に繋げることを期待する。</p>